

2024 年 2 月 15 日  
企業防災専門委員会  
事務局

## 2023 年度 企業防災専門委員会 活動実績について

2023 年度の企業防災専門委員会では、『情報』をキーワードにして、甚大な被害が想定される「南海トラフ地震」の事前対策の強化に取り組んできた。南海トラフ巨大地震の被害想定の見直し・防災対策の方向性の公表（内閣府）が後ろ倒しになり、理解促進活動などは、翌年度に持ち越しとなったものの、BCP事例紹介をはじめ東北フィールドスタディやレジリエント情報配信サービスのトライアル等、専門委員会ならではの活動を全 4 回（+視察会）実施した。その内容を以下のとおり報告する。

### 【2023 年度当初計画】

1. BCP事例紹介等による委員各社のBCP高度化
2. 南海トラフ地震に対する事前対策の強化

### 1. 活動実績

#### ○ 第 1 回

【日 時】2023 年 5 月 17 日（水）10:00～12:00

【場 所】本会 大会議室+Web会議

【参加者】27 名（中経連 4 名を含む）

【主な内容】

- ・第 1 部：災害時の情報収集に関する勉強会 [計画 2]  
【講師】I-レジリエンス株式会社
- ・第 2 部：東北フィールドスタディの事前説明会

#### ○ 視察会

【日 時】2023 年 5 月 25 日（木）～ 26 日（金） 1泊2日

【視察先】宮城県 石巻市・気仙沼市、岩手県 陸前高田市

【参加者】13 社 19 名（中経連 4 名を含む）

【主な内容】

- ・東日本大震災後 12 年が経過し、復興が進む中、災害の現実を知り、有事の判断・決断の重みを考えるとともに、企業・行政・住民の災害対応から教訓を学び、自組織に活かす。[計画 2]

#### ○ 第 2 回

【日 時】2023 年 8 月 2 日（水）10:00～12:00

【場 所】本会 大会議室+Web会議

【参加者】27 名（中経連 5 名を含む）

【主な内容】

- ・BCP事例紹介 [計画 1]  
（総合警備保障株式会社 様、サーラエナジー株式会社 様）
- ・東北フィールドスタディ（視察会）の実施報告 [計画 2]

○ 第3回 (I-レジリエンス day)

【日 時】 2023年11月7日(火) 13:30~17:00

【場 所】 本会 大会議室+Web会議

【参加者】 25名(中経連4名を含む)

【主な内容】

- ・第1部：中部エリアの防災力向上に向けて(意見交換)
- ・第2部：レジリエント情報配信サービス無償トライアル(情報提供・意見交換)

○ 第4回 (中部電力 day)

【日 時】 2024年2月15日(木) 15:00~17:00

【場 所】 中部電力株式会社 本店ビル 防災会議室

【参加者】 32名(中部電力4名、中経連5名を含む)

【主な内容】

- ・BCP事例紹介、施設見学[計画1]  
(中部電力株式会社 様)
- ・本年度活動実績の報告、次年度活動計画(案)の審議
- ・2024年度 東北フィールドスタディについて[計画2]

## 2. 2023年度の活動について

- 2017年度より継続実施している『BCP事例紹介』は、専門委員会社のBCP、特に訓練等の特徴的な実施内容の情報を共有する有意義な機会となっている。今後も、各社の減災対策からの気づき等により、自社のBCPの実効性が高められるよう、2024年度以降も継続実施したい。
- 災害時の情報収集について、外部講師を招き勉強会を開催するとともに、「レジリエント情報配信サービス」の無償トライアル(実際にサービスを利用して体験する)を行った。改めて、情報の収集および活用の仕方の難しさを感じた。「情報」は、災害発生時のみならず、事前情報(被害想定やハザードマップ)等もあるため、引き続き「情報」に関する様々な話題を扱っていきたい。
- 13社15名が参加して5月に『東北フィールドスタディ(視察会)』を開催した。実際に、災害が起きた現場を「目で見て」、被災された方の「生の声を聴く」ことで、リアルに『自分ごと』として考える「キッカケ」を得る非常に良い機会となった。減災を進めていく上では、このような体験の機会は、重要であり継続的に開催していきたい。\*2024年度も東北フィールドスタディ実施決定。
- 南海トラフ巨大地震の被害想定の見直し・防災対策の方向性の公表(内閣府)が後ろ倒しとなったため、2023年度は理解促進等の活動は実施できなかった。能登半島地震の対応や教訓・学びを含めて、2024年度に実施したい。

以上